

4 共通評価項目

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

I-1(1)	理念、基本方針が確立されている。
I-1(1)①	理念が明文化されている。
評価結果	B
	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の社会的存在や信条が明文化されている。 ・「乳幼児が生涯にわたる人間形成の基礎が培われる極めて重要な時期であり、知的・感性・人間関係において急速に成長する時期であることを踏まえ質の高い保育を目指す。」、また「核家族・少子高齢化など社会構造変化に伴う種々の問題を考え、社会ニーズにあった施設運営を目指す。」との法人が掲げる運営理念に基づき、子どもの立場・視点を大切にする園の環境整備に期待する。
I-1(1)②	理念に基づく基本方針が明文化されている。
評価結果	B
	<ul style="list-style-type: none"> ・理念に基づく方針に、保育園の持つ役割や機能、保育に対する考え方が具体的に示されている。 ・園の基本方針として、「みんなと仲良く元気で遊べる子」、「生き生きと遊べる子」、「豊かな感性をもった子」との保育目標があり、具現化に向け積極的な取り組みを期待する。
I-1(2)	理念や基本方針が周知されている。
I-1(2)①	理念や基本方針が職員に周知されている。
評価結果	C
	<ul style="list-style-type: none"> ・理念や基本方針が、職員全員に浸透しているか疑問である。理念や基本方針が日常業務で遂行されるようその方策を考えられたい。また園全体の質向上に向け、その行動規範となるマニュアル等を作成し、職員への配布の検討を要する。
I-1(2)②	理念や基本方針が利用者等に周知されている。
評価結果	B
	<ul style="list-style-type: none"> ・理念や基本方針が職員のみならず、保護者や地域住民、関係機関等に周知されるよう工夫されたい。

総合評価 B

・理念・基本方針が全職員に理解されるため、職員室等に掲示するとともに、保護者会総会等で配布・説明されて、常に施設に目を向けられるよう努められたい。

I-2 計画の策定

I-2(1)	中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。
I-2(1)①	中・長期計画が策定されている。
評価結果	C
<p>・中・長期計画は法人で策定されているが、指定管理に移行して間がないため、園独自の計画は確認できない。早々に園の将来展望が示されるよう期待する。</p>	
I-2(1)②	中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。
評価結果	C
<p>・法人では収支の推移や環境整備等を把握し、中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されていると考えられるが、それが園の年度計画に反映されているか、また目的達成のプロセスも確認できない。</p>	
I-2(2)	計画が適切に策定されている。
I-2(2)①	計画の策定が組織的に行われている。
評価結果	B
<p>・法人内における計画策定は適切に行われていると考えられるが、計画策定は管理職のみでなく、職員全体からの提言・課題等を採り入れられたい。</p>	
I-2(2)②	計画が職員や利用者に周知されている。
評価結果	B
<p>・職員や保護者の理解がなければ計画の達成はできない。保育方針の変更は職員や保護者からの信頼が薄れ、将来不安を残すこととなる。計画達成のため、職員や保護者からの提言も積極的に受け入れるよう努められたい。</p>	
<p>総合評価 C</p> <p>・現在は、「指定管理」の過渡期で戸惑うことも多々あると思うが、園として適切な健全経営を目指しながら、将来計画を明確に示し、さらには、職員・保護者・地域との共同体による社会資源の中核として担っていくよう期待する。</p>	

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

I-3(1)	管理者の責任が明確にされている。
I-3(1)①	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。
評価結果	B
<ul style="list-style-type: none"> 施設をリードする管理職として、「報告・連絡・相談」を大切に、適確な指示と責任を持つという意向を職員にはっきりと示している。 指定管理による職員の戸惑いが見られるため、トップダウンの運営も時々必要となる。職員が働きやすい環境づくりと職員からの信頼性を確保するため、年度はじめに職員・保護者に園長としての役割と責任を文書（えんだより等）で表明できれば、信頼を得るきっかけになると考えられ、再考を期待する。 	
I-3(1)②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。
評価結果	C
<ul style="list-style-type: none"> 園で適用される関係法律をリストアップし、職員間で共有されたい。 	
I-3(2)	管理者のリーダーシップが発揮されている。
I-3(2)①	質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。
評価結果	B
<ul style="list-style-type: none"> 理念や基本方針を中心に据え、各計画を「一本の木」のごとく成長させるよう、確実に課題改善に向けて取り組まれるよう期待する。 保育サービスの質の現状を定期的・継続的に評価・分析し、その向上を意識した具体的な取り組みを検討されたい。 	
I-3(2)②	経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。
評価結果	B
<ul style="list-style-type: none"> 理事長からの指示による業務の効率化と改善及びコストバランスの分析等の結果は、園長までしか浸透していないように見受けられる。経営や業務の効率化に向け、もっと「ガラス張り」の視点で、職員と共有しながら、責任と役割分担等の改善に取り組まれたい。 	

総合評価 B

- 園長の指導力は評価できるが、「職員が支える」との認識を持ち、管理職と全職員の信頼関係づくりに取り組まれたい。
- 業務の効率化と改善は、PDCAの手法で取り組まれるよう期待する。
- 園長は赴任年数が浅いので、環境に戸惑う点があり、苦勞されている様子は伺えるが、恵那市随一の保育サービス拠点として、自信をもって邁進されたい。

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

Ⅱ-1(1)	経営環境の変化等に適切に対応している。
Ⅱ-1(1)①	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。
評価結果	B
<ul style="list-style-type: none"> ・内的には理事長からのFAXが情報源であり、外的な動向は職員自らが新聞・広報等の情報を持参し、他の職員に回覧している。 ・職員で共有した情報やデータが園の各計画に反映され、「保育サービス」の向上に役立っていることが確認できないため、計画に反映できるよう取り組まれたい。 	
Ⅱ-1(1)②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。
評価結果	C
<ul style="list-style-type: none"> ・法人内の一施設として、経営状況の把握・分析のための方法が組織的として確立されていると認められない。園長が法人作成資料を現状分析することにより、改善すべき課題を発掘し、職員からの提案を受け入れるよう努められたい。 ・各職員に、経営状況について知らされておらず、今後の課題と考える。 	
Ⅱ-1(1)③	外部監査が実施されている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・公認会計士により実施されている。 ・外部監査の結果を活かすため、公認会計士からの意見書を全職員に公開し、課題改善に努められたい。 	

総合評価 B

・法人と園が一体となり、社会福祉事業全体の動向、園がある恵那地域での需要動向、利用者数・利用者像等を把握し、経営環境の変化に適切に対応されたい。

Ⅱ-2 人材の確保・養成

Ⅱ-2(1)	人事管理の体制が整備されている。
Ⅱ-2(1)①	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。
評価結果	B
	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度の職員増についてのプランは確立している。 ・必要な人材及びその配置についての管理計画にはやや難がみられ、職員の士気向上のための施策を早急に検討されるよう期待する。(他の施設事例として、クラス担当職員の希望を積極的に採り入れている保育所があり参考にされたい。)
Ⅱ-2(1)②	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。
評価結果	C
	<ul style="list-style-type: none"> ・将来的には組織活性化のため成果が発揮されるよう、まずは法人内で人事考課について研究を始められたい。
Ⅱ-2(2)	職員の就業状況に配慮がなされている。
Ⅱ-2(2)①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。
評価結果	A
	<ul style="list-style-type: none"> ・「有給休暇100パーセント取得」の方針は高く評価でき、職員の就労意欲向上が期待できる。
Ⅱ-2(2)②	福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。
評価結果	A
	<ul style="list-style-type: none"> ・私学共済に加入している。
Ⅱ-2(3)	職員の質の向上に向けた体制が確立されている。
Ⅱ-2(3)①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。
評価結果	B
	<ul style="list-style-type: none"> ・「質の向上」への目標について、園長をはじめ職員が理解するよう再度努められたい。 ・合理的に日常業務を行うため、「全職員」で「省力化」に取り組まれるよう期待する。 ・PDCAの取り組みをもう一步進められたい。

II-2(3)②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され、計画に基づいて具体的な取り組みが十分に行われている。
評価結果	B
	・「福祉は人なり」であり、マンネリ化することなく、今後もPDCAで「職員の質の向上」に取り組まれない。
II-2(3)③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。
評価結果	B
	・研修参加者の報告レポート等を回覧するのみではなく、自らの職場を分析・評価するため、研修参加の成果を共有することにより、園の質向上が図られると考えられる。
II-2(4)	実習生の受け入れが適切に行われている。
II-2(4)①	実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。
評価結果	B
	・児童福祉サービスの担い手の育成は、施設の社会的責務の一つである。 ・受け入れ目的や日程、担当者や保護者への理解等についてマニュアルを早急に整備されたい。
II-2(4)②	実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。
評価結果	B
	・保育士養成校と協議しながら、受け入れ準備段階から実習終了時までの各段階を通じ、実習効果の上がるマニュアルの見直し等について検討されたい。 ・実習生から実習結果報告を受け、その結果を基に実習効果が上がるような取り組みが行われるよう期待する。

総合評価	B
	・児童福祉サービスの質の向上への考え方は、全職員共通の認識であることが確認できた。再度、その原点に戻り認識を深められたい。 ・法人内で検討している人事考課制度を再度見直し、1) 職員の能力開発に活用され、2) 公正な職員処遇となり、3) 個々の意欲を喚起することで、最終的には組織活性化につながるよう努められることを期待する。

Ⅱ-3 安全管理

Ⅱ-3(1)	利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。
Ⅱ-3(1)①	緊急時（事故、感染症の発生時等）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。
評価結果	B
<ul style="list-style-type: none"> ・マンネリ化することがないよう、今後も見直しによる再発見に努められたい。 ・避難訓練対応で、総括責任者の園長自身が、「初期消火・重要書類搬出」の役割を担っているが、万一火災等が発生した場合、この分担では対応が困難であると考えられ、再検討を要する。 	
Ⅱ-3(1)②	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。
評価結果	C
<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットは「管理強化」や「責任追及」ではなく、「要因追究」であることを理解し、ヒヤリハットの取り組みについて、早急に検討されたい。 	

総合評価 B

・保育サービスの社会資源として、今後は「ヒヤリハット」による分析と危険箇所等を明示した「安全マップ」、「散歩道マップ」等を作成し、マンネリ化することがないよう事故予防についての職員間の共有化と組織的な取り組みを通して、更なる「安全・安心」の精度を高められたい。

Ⅱ-4 地域との交流と連携

Ⅱ-4(1)	地域との関係が適切に確保されている。
Ⅱ-4(1)①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。
評価結果	B
<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校から民生委員に至るまで幅広くかかわっている。 ・園では餅つきを実施しているが、職員と園児の参加のみでなく老人クラブの協力を計画されると、これを機会に協力体制ができ、アプローチしやすくなる。 	
Ⅱ-4(1)②	事業所が有する機能を地域に還元している。
評価結果	B
<ul style="list-style-type: none"> ・園では通常保育だけでなく、子育て相談支援を行っており、休日や夜間でも地域において安心して子育てができるような機能を果たしているが、より一層独自の取り組みを期待する。 	
Ⅱ-4(1)③	ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。
評価結果	C
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから高齢者まで幅広い年齢層から定期的にボランティアの確保を検討されたい。 ・受け入れ目的や日程、担当者や保護者への理解及び実施記録の整備やボランティア保険等についてマニュアルの作成を要する。 	
Ⅱ-4(2)	関係機関との連携が確保されている。
Ⅱ-4(2)①	必要な社会資源を明確にしている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・園には性質別関係機関一覧が整備され、職員間で情報を共有している。 	
Ⅱ-4(2)②	関係機関等との連携が適切に行われている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・適切に行われている。 	

II-4(3)	地域の福祉向上のための取り組みを行っている。
II-4(3)①	地域の福祉ニーズを把握している。
評価結果	B
<ul style="list-style-type: none"> ・ ニーズ把握は困難だと思われるが、日常の近所住民や自治会との関わり、様々な行事、民生児童委員との連携、保護者の送迎時等の会話もヒントや参考になるので、そうした機会を捉えニーズを記録し、常に地域のニーズ把握に向け努力、工夫されたい。 ・ 平成22年6月実施の「保護者アンケート」により、休日保育や一時保育のニーズ把握に役立っている。 	
II-4(3)②	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。
評価結果	B
<ul style="list-style-type: none"> ・ ニーズに基づいた独自性のある事業や活動の実施に期待する。 ・ 他の保育所にはない取り組みとして、0歳児から2歳児頃までを対象とした「保護者の食事講習会」の企画には独自性があり、是非次年度事業計画の中に採用されたい。 	

総合評価	B
<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係機関とは確実に連携している。職員間では、連絡・調整等が、明文化等により共有できるよう改善を期待する。 ・ 恵那市初の「指定管理者制度導入保育所」であり、先駆的役割を持つ施設として、市民から注目されていることに留意されたい。 ・ 地域の住民が、専門的スキルを持つ「城ヶ丘保育園」に対して、求めている支援や援助も多岐に渡っていると思われる。なお一層、地域の具体的なニーズや社会の福祉ニーズの動向把握に努め、園の「独自性」を出しながら、住民の期待に応えられたい。 	

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ-1(1)	利用者を尊重する姿勢が明示されている。
Ⅲ-1(1)①	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。
評価結果	B
<p>・入園案内時には、市の保育教育理念「えなの豊かな自然を活かし、地域に根ざした保育教育を目指す」及び園の基本方針「みんな仲良く元気で遊べる子」、「生き生きと遊べる子」、「豊かな感性を持った子」を明示しているが、理念や基本方針に基づいた保育サービスの提供が一層充実するよう期待する。</p>	
Ⅲ-1(1)②	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。
評価結果	A
<p>・園では、子どものプライバシー保護に関するマニュアルを整備しており、さらに、業務中に子どもの家庭環境やその他の個人情報等を不用意に話したり、保護者の許可なく他者に口外することがないよう、職員間で申し合わせている。</p>	
Ⅲ-1(2)	利用者満足の向上に努めている。
Ⅲ-1(2)①	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。
評価結果	A
<p>・職員は保護者に対し、送迎時の会話や保育連絡帳の交換をはじめ、積極的に保護者懇談会や役員会へ参加、個別相談等に応じ、常に意思疎通に心がけている。そこで意向や要望を把握し、さらに職員会議で報告し合っている。</p>	
Ⅲ-1(2)②	利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。
評価結果	A
<p>・指定管理者制度導入を契機に、保護者会四役会や役員会を開催し、「城ヶ丘保育園保育の目標及び内容」に職員及び保護者の意向を反映させる取り組みを行っている。</p>	

Ⅲ-1(3)	利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。
Ⅲ-1(3)①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。
評価結果	B
<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度導入当初、保護者会では制度導入への不安意見のみが目立っていたが、「協力的で良好な関係を築けている」との声も届き始め、現在では職員と保護者が意見を述べ、相談しやすい雰囲気づくりに努めている。 ・送迎時においても、職員が積極的に保護者とコミュニケーションを図ることをはじめ、園全体で保護者が職員に意見を述べやすい環境づくりのため尽力されるよう期待する。 	
Ⅲ-1(3)②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。
評価結果	B
<ul style="list-style-type: none"> ・園では苦情受付担当者や苦情解決責任者及び第三者委員を設置し、また、苦情相談に関する印刷物を玄関に掲示している。保護者等に周知されているが、さらに人目につきやすく、大きく表示する等工夫されることを期待する。 ・「ご意見がありましたら気軽に申し出て下さい」との掲示はあったが、意見箱がなく、設置に向け検討されたい。 	
Ⅲ-1(3)③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの意見に関する対応マニュアルについて、市立保育所統一のマニュアルのみで業務を行っているため、園独自でマニュアルを整備されたい。 	

総合評価	B
<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度導入後、園では「一時保育」サービスを開始し、毎月利用人員が増加していることから判断すると、園のサービスは向上し、保護者から喜ばれている様子が分かる。 ・園では保護者に向け、「毎日の保育で大事にしてきたこと」や「城ヶ丘保育園の良いところ」、「給食について大切にしたいこと」の配布物を作成する等、全職員で子育てニーズを把握し、保育を行っている。 ・「園は保護者ニーズへの対応に前向きで、良好な連携が取れている」と、役員を初めとする保護者からの意見が届いている。 ・園と保護者とのコミュニケーションのあり方を再構築されたい。 	

Ⅲ-2 サービスの質の確保

Ⅲ-2(1)	質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。
Ⅲ-2(1)①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。
評価結果	B
	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価事業評価項目の中から、園が取り組むべき「重要項目」を採り上げ、独自の「自己評価基準」の設定を検討されたい。
Ⅲ-2(1)②	評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。
評価結果	C
	<ul style="list-style-type: none"> ・組織としての課題について、PDCAのサイクルにより園実施の自己評価や今回の第三者評価事業の評価結果を活用し、明確化に取り組みたい。 ・職員の意識改革と協働性を高めるため、自己評価に対し職員全員が主体的に参画されるよう期待する。
Ⅲ-2(1)③	課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。
評価結果	C
	<ul style="list-style-type: none"> ・園で実施した自己評価や今回の第三者評価事業で明らかになった課題に対して、「保育福祉サービス」の質の向上に向け重要度を分析し、積極的な改善に取り組みたい。
Ⅲ-2(2)	個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。
Ⅲ-2(2)①	個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。
評価結果	A
	<ul style="list-style-type: none"> ・園では、恵那市保育園、幼稚園保育教育課程、年齢別年間指導計画を基に子ども一人ひとりを大切にしながら保育を実施し、また毎年3月に保育計画の見直しが行われている。
Ⅲ-2(2)②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。
評価結果	A
	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢別保育指導計画から月案や週案に至るまできめ細かく書類が整備され、園全体で各年齢に沿って保育を実施している。 ・園では記録簿を基に、職員会で「クラス全体の様子」、「気になる子」について討議され、一人ひとりを大切にしながら保育を実施している。

Ⅲ-2(3)	サービス実施の記録が適切に行われている。
Ⅲ-2(3)①	利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・園では「子ども一人ひとりの思いと個性を大事にする」保育が行われ、また、発達状況や生活状況についても詳細に記録されている。 ・園では、個別記録の記入にあたり職員間でバラツキが発生しない工夫を行っている。 	
Ⅲ-2(3)②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・園では、子どもに関する記録簿は鍵のかかるスチール棚に保管され、園長及び副園長の責任により管理されている。 	
Ⅲ-2(3)③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修では、未満児部会（0歳～2歳）・以上児部会（3歳～6歳）が定期的に行われ、職員間で子どもの発達状況を共有している。 	

総合評価 A	
<ul style="list-style-type: none"> ・年齢別保育指導計画から月案や週案に至るまできめ細かく書類が整備され、園全体で各年齢に沿った保育を実施している。 ・園内研修を定期的に行うとともに、恵那市幼児教育研究会にも参加する等、子どもの発達状況を重点に置きながら一人ひとりの子どもを尊重する保育を実践しており、保育の充実ぶりが伺える。 ・訪問により保育サービスの充実ぶりをうかがい知ることができたが、今後は評価結果を活用して、職員の意識改革と協働性を高められたい。 	

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

Ⅲ-3(1)	サービス提供の開始が適切に行われている。
Ⅲ-3(1)①	利用希望者に対してサービスの選択に必要な情報を提供している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・園の情報は、恵那市の広報や地域のTVネットワーク等で紹介されるとともに、園内ではしおりや写真を掲示し、利用者への情報提供に努めている。 ・園長が見学希望者に対し、随時対応している。 	
Ⅲ-3(1)②	サービスの開始にあたり、利用者等に説明し同意を得ている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度導入後、「一時保育」サービスを開始したところ、希望者が毎月増加し、保護者から喜ばれていることから判断すると、利用者等にサービス内容を説明し同意を得ていることは明確である。 	
Ⅲ-3(2)	サービスの継続性に配慮した対応が行われている。
Ⅲ-3(2)①	事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・今のところ該当者はいないが、中途退園があれば、児童票・健康診断等保育の継続を損なわないよう転出先に引継ぎ、送り、手順等を報告できる体制が整えられ、また、場合により電話にて対応することもできる。 ・園では、夏祭り、運動会等大規模な行事があると卒園児等の参加を呼びかけ、保護者会とのコミュニケーションに努めている。 	

総合評価	A
<ul style="list-style-type: none"> ・園では、指定管理者制度導入後も恵那市統一の保育所入所案内や園だより等も活用しながら、保護者等への制度の周知浸透に努めた結果が、入園希望者の増加となって現われている。 ・職員が常に、子どもの発達状況対応を意識しながら、研修会に参加し、職員会で討議することにより、園のサービス向上に取り組んでいる。 ・今後は各マニュアルを整備し、職員間で共有されるよう期待する。 	

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

Ⅲ-4(1)	利用者のアセスメントが行われている。
Ⅲ-4(1)①	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・入園前に保護者説明会及び個人懇談を行い、児童票に基づく身体状況や生活状況の把握等手順を決めて実施している。 	
Ⅲ-4(1)②	利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・園では、子ども一人ひとりの発達状況について討議、記録するため、未満児部会（0歳～2歳）及び以上児部会（3歳～6歳）を定期的で開催している。 	
Ⅲ-4(2)	利用者に対するサービス実施計画が策定されている。
Ⅲ-4(2)①	サービス実施計画を適切に策定している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・園では各サービス実施計画の策定にあたり、学年会や未満児部会（0歳～2歳）及び以上児部会（3歳～6歳）、職員会が開催されるが、園長がリーダーで参加し、各々の会議で子ども一人ひとりに着目した指導計画を策定している。 	
Ⅲ-4(2)②	定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。
評価結果	B
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりに対する保育の質の向上を図るためには、毎月の保育計画記録を初めとする個々の記録等記録簿について、今後は一層の見直しを行い、標準化されるよう期待する。 	

総合評価 A

- ・園では保護者のニーズや地域の状況、子どもの様子等を踏まえ、定例会議を開催し定期的に記録している等、保育資質の向上を図るため充実した保育を実施している。
- ・園には数多くの記録簿や実施状況の評価、見直しに関する記録簿があるが、手順が十分に整っていないので、今後はPDCAのサイクルを活用されたい。

5 サービス評価項目

A-1 子どもの発達援助

1-(1)	発達援助の基本
A-1(1)①	保育計画が、保育の基本指針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。
評価結果	B
<p>・恵那市保育園・幼稚園 保育教育課程（案）を基に、保育計画は年案、月案、週案に反映され、適切に作成されている。</p>	
A-1(1)②	指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。
評価結果	A
<p>・指導計画は年児会、以上児会、未満児会、職員会議等で評価・見直しが行われている。</p>	

総合評価	A
<p>・恵那市初の指定管理制度実施園という移行への戸惑いも見られるが、園児一人ひとりについて、保育目標、発達状況、保育の実際について記録されている。</p>	

1-(2)	健康管理・食事
A-1(2)①	登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。
評価結果	B
<ul style="list-style-type: none"> ・入園時には児童家庭調査票で、2年目は在園児調査票で、職員、看護師が保護者への連絡を通じ、園児一人ひとりの健康状態を把握、対応している。 ・保育安全マニュアルはあるが、健康管理に関するマニュアルがなく、整備を要する。 	
A-1(2)②	健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の健診後、個別記録票に記録され、保育上必要な事項は全職員に周知されている。 ・看護師が健診結果をまとめ、保護者に「ほけんだより」で知らせている。 	
A-1(2)③	歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・歯科健診が2回及び歯科衛生士による歯磨き指導が2回実施されている。 	
A-1(2)④	感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。
評価結果	B
<ul style="list-style-type: none"> ・他県作成のマニュアルはあるが、園独自のマニュアルを整備し職員で共有されたい。 ・感染症が発症した場合には、看護師の指導の下、発生状況を全職員や保護者に通知できる体制が整っている。 	

A-1(2)⑤	アレルギー疾患を持つ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・職員は、子どもの入園時に作成される児童家庭調査表でアレルギーを把握し、医師の指示を受けている。 ・保護者、看護師、担任、調理員により、除去食の内容が再度チェックされている。 ・アレルギー疾患を持つ子どもの名簿が作成され、全クラスに配布されることにより、全職員が情報を把握している。 	
A-1(2)⑥	子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・職員が食品調査票を作成し、園児一人ひとりが入園時からどのような食材が食べられるようになったか把握している。 	
A-1(2)⑦	食事を楽しむことができる工夫をしている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・園児がテラスで食事をしたり、異年齢児と食事をする事により、食事を楽しめる配慮が行われている。 ・年長児が園庭で野菜を育て、その後開催する「カレーレストラン」の中で、収穫した野菜を調理し、他の園児をもてなすことにより、食事に関心を持つよう工夫されている。 	
A-1(2)⑧	子どもの食生活を充実させるために家庭と連携している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・職員が給食のサンプル写真及びレシピを掲示することにより、食事の重要性を伝えている。 ・保護者との連絡を通し、子どもの年齢に合わせた給食が提供されている。 	

総合評価 A	
<ul style="list-style-type: none"> ・専任の看護師による保健・健康管理が実施され、保護者や職員に対して指導・相談を行う等安心、安全の体制が整っている。 ・訪問当日はどのクラスの園児たちも明るく、落ち着いて、楽しく食べている様子が確認できた。 ・給食は、園児の発育状況や体調に合わせたきめ細やかな対応が行われている。 	

1-(3)	保育環境
A-1(3)①	子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・各部屋に空気清浄機が設置され、清潔に配慮されている。 ・週末には職員全員で保育園を清掃し、衛生面に留意されている。 	
A-1(3)②	生活の場にふさわしい環境とする取り組みを行っている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・廊下が広く、雨天の日等で園庭が使用できないときに、活動しやすい場所が確保されている。 	

総合評価 A

- ・食事・睡眠の場と遊びの空間、園庭での活動の場が確保され、また、随所に季節の花等環境が整っている。
- ・0歳児、1歳児、2歳児室には畳が敷かれ、年齢に合わせて活動しやすいよう配慮されている。

1-(4)	保育内容
A-1(4)①	子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・保育日誌等に園児一人ひとりの理解を得られるように努めていることが記録されている。 	
A-1(4)②	基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・児童票に、園児一人ひとりの発達段階を考慮したことが記録され、基本的な生活習慣の確立に取り組む園の様子が分かる。 	
A-1(4)③	子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・週案、保育日誌に具体的な子どもの自発的活動が明記されている。 	
A-1(4)④	身近な自然や社会と関われるような取り組みがなされている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・園では四季折々の自然に触れる環境に恵まれ、その取り組みが行われている。 	

A-1(4)⑥	様々な表現活動が自由に体験できるように配慮されている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの作品が実際の保育の場で活かされ、各部屋に工夫して飾られる等大切に扱われている。 	
A-1(4)⑥	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・人間関係が育つよう、異年齢の交流が毎日のように行われている。 	
A-1(4)⑦	子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるように配慮している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・保育計画が、園児の人権に十分配慮し計画され、実践される内容になっている。 	
A-1(4)⑧	性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないように配慮している。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・訪問した限りでは、先入観による固定的な観念や意識を植えつける保育は行われていない。 	

A-1(4)⑨	乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・離乳食などについて、職員は保護者と連絡を取りながら、園児一人ひとりの状況に配慮している。 ・園では午睡チェック表を作成し、SIDS防止を行っている。 ・乳児保育用のマニュアルがなく、整備を要する。 	
A-1(4)⑩	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・園児の状況について、職員間の引き継ぎが適切に行われている。 ・園児の生活リズムに配慮した軽食が提供されている。 	
A-1(4)⑪	障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・障害児個別票があり、また、関係機関と連携して年間指導計画、月案、週案が立てられている。 ・担任のみでなく、全職員が障害児の情報を把握し、共通の理解を得ている。 	

総合評価 A	
<ul style="list-style-type: none"> ・園児は、皆明るく元気で、活発な様子とともに落ち着きも見られ、日頃の保育方針が伺える。 ・園児一人ひとりの理解を深めるため努力していることが、保育日誌等で具体的に明記されている。 	

A-2 子育て支援

2-(1)	入所児童の保護者の育児支援
A-2(1)①	一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別相談などを行っている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時の口頭で、また連絡帳による記録等で日常的な情報交換を行っている。 	
A-2(1)②	家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。
評価結果	B
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭状況や保護者との情報交換の内容は、必要に応じて児童票に記録されているが、職員が共有できるよう書類の分類整理を要する。 	
A-2(1)③	子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・園では年1回懇談会が行われている。また、保護者が保育に参加できる行事を開催し、保護者と共通理解を得る機会を設けている。 	
A-2(1)④	虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに保育所長まで届く体制になっている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・職員は毎月の身体計測時以外にも、日常の園児の様子、昼寝の着替えのときに注意を払い、早期発見に努めている。 	

A-2(1)⑤	虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、子ども相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。
評価結果	A ・訪問した限りでは、対象園児の対応について関係機関と速やかに通告を行う体制が園に整備されている。
A-2(1)⑥	一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。
評価結果	A ・一時保育のための担当保育士がおり、また保育室も整備されている。 ・訪問した限りでは、保護者との連絡も十分行われている。

総合評価 A	
<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時間及び誰の送迎か明記されたチェック表があり、安全体制が整っている。 ・連絡帳は、0歳児から2歳児及び3歳以上児に分かれ詳細に記録され、保護者からの相談に対応できるよう整備されている。また、必要に応じて個人記録に明記され、職員が情報を共有している。 ・一時保育では、一人ひとりの子どもへの配慮や、通常保育への交流も行われ、園で安心して過ごせるよう配慮されている。 	

A-3 運営管理

3-(1)	安全・衛生管理
A-3(1)①	事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。
評価結果	B
<p>・園には市立保育所統一の緊急時対応マニュアルはあるが、事故や災害の発生時に備えて、独自にマニュアルを作成する等、園全体で取り組み、対応されたい。</p>	
A-3(1)②	事故防止のためのチェックリストがあり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている。
評価結果	B
<p>・訪問調査の結果、園には遊具のチェックリストはあるが、その他の事故防止対策は欠けており、保育は安全安心の配慮があればこそ実施できると考えられたため、今後の取り組みを検討されたい。</p>	
A-3(1)③	食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている。
評価結果	A
<p>・園では「給食マニュアル」により、全職員に周知徹底している。</p> <p>・園では行政機関から食中毒情報が流され、即全職員に周知し、対応を怠らないよう努めている。</p>	
A-3(1)④	調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。
評価結果	A
<p>・保育士が衛生安全管理や事故防止、食中毒発生等のマニュアルに基づきチェックしていることに加え、看護師もチェックする体制を整え、全職員が定期的に見直しをしている。</p>	

A-3(1)⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。

評価結果 B

・園ではマニュアルに基づき不審者対応に向けた防犯訓練を実施しているが、さらに全職員がいつでも「さすまた」を活用できるよう、安全安心に努められたい。

総合評価 B

・園には市立保育所統一の緊急連絡に関するマニュアルがあるが、職員の誰が見ても分かりやすい園独自のマニュアルを整備し全職員に共有・浸透されたい。また日頃から全職員に対し、緊急連絡を含めた安全・事故防止に関する研修の実施を期待する。なおマニュアルは、随時見直しが必要である。

・園では、保護者会の行事でも常に安全確保に心がけ、事故防止に取り組んでいる。

・園では、関係機関や近隣住民、小学校等から不審者の情報を得る体制を整えている等、日頃より安全管理に努めている。

A-4 個別サービス評価基準（岐阜県独自項目）

4-(1)	安全管理面でのサービス
A-4(1)①	外部からの侵入に対する対応策がとられている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・園には恵那市規程の「不審者対応マニュアル」が整備され、職員間で緊急伝達できる体制が整っている。 ・関係機関から不審者情報についてFAXや電話があった場合は、すぐに職員全員に連絡し、さらに園内にも掲示することにより、保護者等に注意を呼びかけ事故防止に努めている。 	
4-(2)	保護者とのコミュニケーション
A-4(2)①	保護者の保育参観を促すような工夫をしている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・園では事前に保護者へ年間行事予定表を配布するため、保育参観日は殆んど欠席者がいない。 ・園では、大規模な行事についての保護者アンケートを実施した結果から、祖父母席や年齢別席を設置し、好評を得ている等保護者とのコミュニケーションについて工夫を行っている。 ・民生児童委員が園の隣接地域に居住しているので、すぐに地域の協力を得られやすく、園児との交流も図りやすい。 	
A-4(2)②	保護者会組織への活動の援助や意見交換を行っている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会の役員には、運営委員会及び役員会があり、学年代表5名を運営委員会、クラス代表22名を役員に選任し、園行事の手伝いや地域との交流支援を行っている。 	
4-(3)	保育所・幼稚園・小学校との連携
A-4(3)①	保育所・幼稚園・小学校との連携した取り組みを行っている。
評価結果	A
<ul style="list-style-type: none"> ・隣接の幼稚園とドッジボール大会や人形劇鑑賞交流を実施したり、また岩村保育所とふれあい列車の行事に参加したり、さらには近隣の小学校と交流を図る等地域に根ざした保育を実施している。 	

総合評価 A

- ・園では事故防止に向けた取り組みを行っているが、今後はさらに事故防止に対する具体的な見直しを行い、それに向けた研修を実施されたい。
- ・保護者会活動では、地域社会から積極的な支援を受け、保護者及び子ども共々参加しやすい行事を設定、開催している。
- ・園は幼稚園及び小学校が近隣にあり、常に協力体制が整っている等環境に恵まれ、特に隣接の幼稚園とは年に複数回交流し、密接に連携を取っている。
- ・園では厳重にセキュリティ管理が行われ、外部者侵入への対応策が取られている。